

あなたのからしのおてつだい



発行/社会福祉法人神山町社会福祉協議会
 名西郡神山町神領字本上角93番地1
 TEL.088-676-1166
 発行日/2018年2月1日
 印刷/多田印刷株式会社



赤い羽根共同募金配分金事業
 冬休み子どもお楽しみクラブ
**「ホットプレートで
 ピザパーティー」**
 を開催しました!!

C O N T E N T S

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金 … 2	福祉体験学習 …………… 3
神山町善意銀行…………… 2	平成29年度社協会員会費のお願い …… 4
第61回徳島県社会福祉大会 …………… 2	お福分け …………… 4
防災訓練・炊き出し訓練 …………… 3	くらしサポートセンター神山 …………… 4
献血にご協力ありがとうございました … 3	日常生活自立支援事業 …………… 4
生活福祉資金貸付制度 …………… 3	

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金

平成二十九年度赤い羽根共同募金と歳末たすけあい募金運動には町民の皆様から多くの善意が寄せられました。

★赤い羽根共同募金実績額

八六四、六四六円

★歳末たすけあい募金実績額

八五〇、七九二円

配分金は神山町の福祉団体の活動費や地域福祉活動に使われています。

共同募金のご協力
ありがとうございました。



◎地域支え合い事業

地区ごとに民生委員さんを中心に、お餅などを作り、ひとり暮らしの高齢者の方へお届けして、安否確認を行いました。



◎冬休み子どもお楽しみクラブ

「ホットプレートでピザパーティー」を開催し、絵本の読み聞かせを行いました。



神山町善意銀行

神山町善意銀行へ次の方からご寄付をいただきました。(順不同)
(平成二十九年七月～三十年一月)

●現金預託

徳島市国府町	中山 善正 様
鬼籠野字中分	高橋 計幸 様
阿野字五反地	大草 昇 様
阿野字下地	岩丸 治男 様
下分字中稲原	矢内 基夫 様
下分字今井	粟飯原和史 様
阿野字五反地	原田 健義 様
下分字今井	南 武志 様
神領字本野間	神山町体育協会 様
上分字名	竹内 利夫 様
阿野字五反地	阿部 三樹 様
鬼籠野字一ノ坂	佐々木公男 様
阿野字地ノ平	森本 京子 様
阿野字本名	河野 進 様

善意銀行の使い途

- ・福祉機器リサイクル事業
- ・在宅介護高齢者等紙おむつ支給事業
- ・乳幼児紙おむつ支給事業
- ・チャイルドシートリサイクル事業
- など

ありがとうございました

第六十一回

徳島県社会福祉大会表彰

平成二十九年十一月十四日、あわぎんホールにおいて第六十一回徳島県社会福祉大会が開催され、永年にわたり社会福祉の推進に功績のあった方々が表彰されました。

神山町の受賞者は次の方々です。

《名誉大会長表彰》(知事表彰)

○ボランティア功労者

相原 久子 様

《大会長表彰》

(徳島県社会福祉協議会会長表彰)

○民生委員・児童委員功労

林 享江 様

○ボランティア功労者

西田 聖子 様

高島 純江 様



防災訓練・炊き出し訓練を行いました



【神山中学校防災クラブ】

平成二十九年十一月十五日

神山中学校の防災クラブの授業にハイゼックスを利用したお米の炊き出し訓練の講師として招かれました。日赤奉仕団にも依頼し、移動炊飯器を使ってお肉と野菜たっぷりのカレーを作って頂きました。昼食は生徒たち一人一人が作ったハイゼックスのご飯と一緒にカレーライスを食べました。

また、日本赤十字社徳島県支部の吉田滋氏を講師にお招きし、防災学習ワークショップを行い、災害時の応急対応等を学びました。

【下分地区】

平成二十九年十月二十九日

下分地区まちづくり実行委員会主催の防災訓練に参加し、炊き出し訓練を行いました。移動式炊飯器を利用しカレーライスを作りました。台風接近のなか実施したため、緊張感漂う防災訓練となりました。

非常時、持ち出すものってなんだろう？



炊き出し訓練の様子



献血にご協力ありがとうございました。

平成三十年一月十七日に神山町役場内で献血を行いました。

- ◎ 受付者 二十九名
 - ◎ 献血者数 二十五名
- ご協力いただき、ありがとうございました。



生活福祉資金貸付制度 教育支援資金

教育支援資金の貸付は、進学や就学の継続を支援し、世帯の将来的な自立につなげることを目的としています。まずは、ご相談ください。

教育支援費 (月額上限額)	高等学校 専修学校 (高等課程)	高等専門 学校	短期大学 専修学校 (専門課程)	大 学
	35,000円	60,000円	60,000円	65,000円
就学支度費 (貸付上限額)	高等学校 専修学校 (高等課程)	高等専門 学校	短期大学 専修学校 (専門課程)	大 学
	50万円			

福祉体験学習

平成二十九年十月十一日に広野小学校四年生のクラスへ福祉体験学習の講師として招かれ、アイマスクと、車イスの体験を行いました。車イスの操作では、普段は気にしない段差や坂道を乗り越えることが難しく、苦戦している姿がみられました。児童からは「時計の針で表すと始めて知りました」「普段歩いていたら感じないけれど車イスに乗ったらこんなに危険な所があるんだと思いました」などの感想が寄せられました。

福祉体験を通して、障がいがある方と介助者の両方の気持ちを体験することができたのではないかと思います。



アイマスク体験



車イス体験



平成29年度社協会員会費について



会員区分

***一般会員 / 一口…500円以上** ***特別会員 / 一口…5,000円以上**

※会費の納入については、2月1日より老人クラブ会員、民生委員児童委員、部落会長の皆さまを通じて各世帯にご協力をお願いさせていただいております。平成28年度実績、社協会員会費は1,280,500円でした。ご協力ありがとうございました。

ご協力お願いします

神山町社会福祉協議会は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる福祉のまちづくりを目指し、地域福祉事業を推進しています。皆様から寄せられた会費は、社協の大切な自主財源として様々な福祉事業に活用させていただいております。趣旨をご理解の上、会員加入と会費納入にご協力をお願いいたします。

お福分け



平成29年12月、神山町仏教会寺院から食料品をたくさんいただきました。

また、徳島県社会福祉協議会を通じてフードバンクから頂いたお米やカップ麺などの食料品とあわせて、生活困窮者自立支援事業で相談を受け付けた家庭など20世帯へ「お福分け」としてお配りいたしました。



くらしサポートセンター神山

さまざまな理由で生活の困り事を抱えている方が住んでいる地域で相談ができるよう、神山町社会福祉協議会に「くらしサポートセンター」を開設しています。

- ◎経済的に不安がある
- ◎住むところがない
- ◎家族のことで悩んでいる
- ◎仕事が見つからない

など、生活の不安や悩みごとをご相談ください。相談者の支援に必要と考えられる専門機関と連携して支援を行います。



まずは、ご相談ください!
TEL. (088) 676-1166
I P 4430

日常生活自立支援事業



公共料金の支払いや
お金の出し入れをしてほしい。



通帳や印鑑、大切な書類を
なくしてしまいそう。



このままじゃ
お困りではありませんか?

高齢者や障がい者の方々が、安心して暮らせるお手伝いをします。

サービス内容

- 基本サービス ①福祉サービス利用援助
選択サービス ②日常的金銭管理
③書類等預かりサービス
利 用 料 1回1,500円(1時間程度)

対象者

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者などの人で判断能力が十分でない人。
※同時に本事業の契約内容に関して判断しうる能力を有していること。